富士ゼロックス Print Server N01
Ver.6.0 リリースについての追加補足情報

このたびは、Print Server N01 をご利用いただき、まことにありがとうございます。

本書では、『Print Server N01 ユーザーズガイド導入編』、および『Print Server N01 ユーザーズガイド運用編』に記載されていない情報や、本バージョンでの追加補足情報について説明しています。

Print Server N01 をご利用になる前に、『Print Server N01 ユーザーズガイド導入編』、および『Print Server N01 ユーザーズガイド運用編』とあわせて、ここで説明している情報をお読みください。

本書の内容は、次のとおりです。

著作者 - 富士ゼロックス株式会社
発行者 - 富士ゼロックス株式会社

発行年月 - 2011 年7月　第1版

897E 35430
DE4844J1-1
Printed in Japan

1. お使いになる前に

- Print Server に、ほかのアプリケーションをインストールした場合の動作は保証していません。
- Print Server には、弊社製のオプション製品を装着できます。オプション製品については、弊社、または販売店にお問い合わせください。
- Print Server 本体に同梱されている、各種インストールメディアを紛失しないよう、注意してください。
- Print Server に同梱されているオプションの測色器の白色板は、測色器と対になっています。白色板を紛失すると、測色器が使用できません。白色板を紛失しないように注意してください。

2. 追加補足情報

2-1. メーターに関して

- Microsoft® Office Word 2007 などのアプリケーションで、奇数ページのファイルを両面印刷すると、アプリケーションが自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。この場合は、アプリケーションが挿入する白紙出力はカウントアップの対象になります。
- PrintShop Mail などのアプリケーションで、1 レコード奇数ページでプリントされるデータを両面印刷すると、各レコードの最後に白紙ページが挿入されます。この白紙はカウントアップの対象になります。両面印刷をする場合は、PrintShop Mail のプリント設定で、片面印刷の設定をして、プリントオプションの[用紙 / ページ]＞[レコード分割]、[排出 / フィニッシング / 両面]＞[両面]機能でプリントしてください。
- Windows®版のPrintShop Mailのプリント設定で、特定用紙サイズを選択してプリントすると、PrintShop Mail で白紙のデータが生成されます。

2-2. Print Server 本体

- 何らかの理由で、Fuji Xerox Print Server Service をいったん停止した場合は、Print Server を再起動してください。
- アプリケーションによっては、プリントオプションの設定が Print Server に正しく反映されないことがあります。この場合は、次のファイルの内容を変更し、Print Server を再起動してください。

  D:¥Fuji Xerox¥Print Server PX¥bin¥FX_RIP.ini

  次のように、「FirstPage」の値を大きくしてください。（単位はバイトです）
ただし、大きくし過ぎると、RIP 処理の開始が遅くなりますので注意してください。

FirstPage=5242880
を
FirstPage=10240000
に変更

  注意）ini ファイルの変更前に、デスクトップなど別の場所に ini ファイルのバックアップ（複製）を作成しておくことをお勧めします。
- メモリー容量が 1GB 以下の Print Server で、Raster Image Viewer の［オプション］→［環境設定］の［画像解像度設定］で［600dpi］を選択していると、処理速度が遅くなることがあります。この場合は、［画像解像度設定］で［200dpi（推奨）］、または［300dpi］を選択してください。
- 以下のプリントオプションを設定すると、PostScript エラーが発生することがあります。
  - ［カラー］＞［2 色印刷シミュレーション］にチェックマークを付けているとき

• ［プリフライト］＞［画像警告］＞［ヘアライン警告］が［しない］以外のとき

上記の場合は、次のファイルの内容を変更し、Print Server を再起動してください。

D:¥Fuji Xerox¥Print Server PX¥bin¥FX_RIP.ini

次のように、「CPSIMemory」の値を大きくしてください。

CPSIMemory=131072
を
CPSIMemory=163840
に変更

注意）ini ファイルの変更前に、デスクトップなど別の場所に ini ファイルのバックアップ（複製）を作成しておくことをお勧めします。

- 複数のネットワークに別々のデフォルトゲートウェイを設定した場合、通信（データのやり取り）が正しく行えない、エラーが発生することがあります。デフォルトゲートウェイはどちらか 1 つにだけ設定してください。
- プリントオプションの設定によっては、処理に時間がかかることがあります。処理に時間がかかる設定例は以下のとおりです。
  - ［画質］＞［コンポジットオーバープリント］が［プロセスカラー］、または［プロセスカラー＋特色］のとき
  - ［画質］＞［その他の設定（画質）］＞［トラッピングの自動処理］が［する］のとき
  - ［排出 / フィニッシング / 両面］＞［最終ページから印刷］にチェックマークを付けているとき
  - ［プリフライト］＞［画像警告］＞［ヘアライン警告］が［する］のとき
  - ［プリフライト］＞［画像警告］＞［オーバープリント警告］が［する］のとき
- カラー図形が隣接したデザインのドキュメントをプリントすると、カラー図形の境界に白い線が視認できることがあります。その場合は、Print Server でトラッピング処理を指定すると軽減させることができます。
- Microsoft Office などで作成した半透明の図形は、PostScript の制約により、画面どおりに再現されないことがあります。
- 共有フォルダーを作成する場合は、フォルダーの［プロパティ］→［セキュリティ］タブにもアクセス許可するユーザーのアクセス権を設定してください。

2-3. ServerManager、および WebManager 共通

- Mac OS X でプロファイル設定のダウンロードを行うと、「操作がキャンセルされました」というメッセージが表示され、ダウンロードが正しく終了しないことがあります。その場合は、WebManager の［ダウンロード］→［共通］→［プロファイル設定のダウンロード］からプロファイル設定をダウンロードしてください。
- ServerManager、および WebManager のプリントオプション、または［管理］→［プリントオプションテンプレートの管理］の［用紙 / ページ］＞［用紙サイズの変更］を［カスタム］にしていない場合、カスタムサイズの項目がグレー表示になり入力することができません。

2-4. ServerManager

- ServerManager の［管理］→［プリントオプションテンプレートの管理］の［テンプレートを優先］の［する］にチェックマークを付けると、ほかのプリントオプション項目との組み合わせによって、設定はできても、プリント指示をするとエラーメッセージが表示され、プリントができないことがあります。

- クライアントコンピューターから「給紙方法」→「自動選択」でプリントした場合、Print Server の［管理］→［プリントオプションテンプレートの管理］の［用紙 / ページ］＞［用紙トレイ］の設定が有効になります。
- Windows のプリンタードライバーの「プロパティ」→「レイアウト」→「詳細設定」→「PostScript オプション」→「PostScript　出力オプション」で「印刷処理が速くなるよう最適化」にした場合、ServerManager の［システム］→［プリントジョブの設定］→［ページ指定のプリントを高速化］にチェックマークを付けても、PostScript エラーの発生を防ぐため、高速化が無効になります。
［ページ指定のプリントを高速化］を有効にする場合は、「エラーが軽減するよう最適化」にしてください。
- ホットフォルダの作業用フォルダーの場所を変更すると、変更前のフォルダーはもとの場所に残ります。変更前のフォルダーは、手動で削除してください。
- Trueflow SE からジョブを送信すると、「PDF 変換エラー（92）」が表示されることがあります。この場合は、「最新 PDF 処理」（Trueflow SE Ver.5.0 以降のオプション）、または「従来 PS/PDF 処理」で、「プロセス」を「OutlinePDF」に変更してください。
- ICC プロファイルから Print Server のプロファイルに変換する場合、ICC プロファイルの作成の仕方によっては狙いどおりの色味にならないことがあります。
- ICC プロファイルを埋め込んでプリントできるアプリケーションがありますが、狙いどおりの色味にならないことがあります。
- 新たに Print Server のプロファイルを作成する場合、用紙やインキの特性、またはターゲットの印刷物の退色（経時変化）や環境変化により、狙いどおりの色味にならないことがあります。
- Print Server のプリンターを SMB 共有してプリントしたとき、クライアントコンピューターでログインしているユーザー名が、Print Server の Windows のユーザーとして登録されていないと、Print Server では所有者に「Guest」が表示されます。
- プリント中の部数、ページ数がプリンターの操作パネルに正しく表示されないことがあります。この場合は、Print Server の ServerManager で確認してください。
- Print Server が受信した、クライアントコンピューターからのメールに添付ファイルが多数ある場合、受信状況のステータスが正しく表示されないことがあります。また、プリント中のものがあっても、「プリント済み」と表示されます。
- EPS　ファイルを添付したメールを受信した場合、正しくプリントできないことがあります。この場合は、EPS を扱えるアプリケーションでプリントするか、FTP プリントなどを使用してください。
- Print Server が受信した添付ファイル名が 2 バイト文字の場合、本文プリントでの添付ファイル名が文字化けすることがあります。
- Print Server が受信した添付ファイル名に「＃」が含まれている場合、プリントされないことがあります。
- Adobe Acrobat のプリント設定で、「用紙サイズにあわせてページを縮小」、または「用紙サイズに合わせてページを拡大」にしてプリントすると、プリントオプションの［用紙 / ページ］＞［用紙サイズに合わせる］を［しない］にしても、プリントされる用紙サイズに合わせてイメージが拡大 / 縮小されます。
- TIFF、および JPEG ファイルにページ番号を挿入する場合、意図していた位置とは異なる位置に、ページ番号が印字されてしまうことがあります。これは、縦と横の長さで自動的にイメージの向きが判別されるためです。プリントオプションの［用紙 / ページ］＞［原稿の向き］で［たて原稿］、または［よこ原稿］を選択し、原稿の向きを設定してください。
- メールプリントで、A4 サイズの TIFF ファイルをプリントすると、A4 用紙にはプリントされず、A4 サイズより大きい（たとえば B4、A3）用紙にプリントされます。これは A4 サイズの TIFF ファイルを印字欠けせずにプリントできる用紙サイズが選択されるためです。
- メールプリントの本文プリントで、日本語を含むメールヘッダーが正しくプリントされない（正しくデコードされない）ことがあります。
- クライアントコンピューターで動作する ServerManager は、他機種の Print Server とは接続できません。

- プリントオプションの［RIP］＞［RIP の種類］が［CPSI］の場合に、オブジェクトに透明指定されているファイルや、プロファイルが埋め込まれているファイルをプリントすると、色の差が生じることがあります。
- 特色の登録などの操作を行うと、ServerManager 上に表示されるジョブ ID が連番にならないことがあります。

2-5. WebManager

- 一度に開くことができる画面数は、1 つだけです。複数の保持ジョブリストを開いてジョブを編集しようとすると、「ジョブを 1 つだけ選択してください」というメッセージが表示され、［ジョブ編集］ダイアログボックスが開かないことがあります。
- プリントボックスに多数のジョブがある場合、ジョブの表示に時間がかかることがあります。
- アップロードするファイルに、TIFF、または JPEG のファイルを選択した場合、プリントオプションの［プリフライト］＞［画像警告］＞［オーバープリント警告］、および［ヘアライン警告］の設定をすることができますが、ジョブを Print Server に送信するとエラーメッセージが表示され、プリントはできません。
- クライアントソフトウエアをダウンロードするときは、ブラウザーでプロキシサーバーを経由しないように設定してください。プロキシサーバーを経由するように設定すると、古いバージョンのソフトウエアがダウンロードされることがあります。
- Windows クライアントで Firefox を使用して、［Macintosh （Classic)］のソフトウエア名やプロファイル設定をクリックしても、［XXX を開く］ダイアログボックスが表示されない場合は、次の手順でダウンロードしてください。
    - ソフトウエア名やプロファイル設定をマウスで右クリックしたあと、表示されたメニューで［名前を付けてリンク先を保存］を選択し、任意の場所に保存します。
- アップロードプリントする場合に、「Content-Type が正しくありません。このブラウザーではアップロードできません」というメッセージが表示され、アップロードプリントの画面が正しく表示されないことがあります。この場合は、ブラウザーを再起動してください。
- ブラウザーの「戻る」をクリックして、前の画面に戻った場合、前の画面で設定していた項目が設定されていない状態に戻ることがあります。
- 複数のクライアントコンピューターで、同時に WebManager を使用して Print Server に接続すると、一部のフレームが正しく表示されないことがあります。これは同時接続数の制約によるもので、この場合は、少し待ってから再度アクセスしてください。
- ブラウザーの「更新」をクリックして、ジョブの表示を更新した場合、ジョブの表示が完了する前に、ほかの操作を行うと、それ以降の操作が正常に行えなくなることがあります。この場合は、再度ブラウザーの「更新」をクリックして、ジョブの表示が完了するまでお待ちください。

2-6. プリントについて

■ Macintosh クライアント、および Windows クライアント共通

- ServerManager の［システム］→［プリントジョブの設定］の［用紙の代用を行う］は、トレイ 1 ～トレイ 6 に対してだけ有効です。手差しトレイでは、用紙の代用は行われません。
- プリントオプションの［プリフライト］＞［TIFF で保存する］、または［PDF で保存する］を選択して作成したファイルをプリントしないでください。プリントした場合は、保証の範囲外になります。
- プリントオプションの［プリフライト］＞［TIFF で保存する］を選択した場合、作成したファイルを Adobe Photoshop で開くと、正しく表示されないことがあります。

- プリントオプションの［用紙 / ページ］＞［用紙サイズに合わせる］でファイルを縮小してプリントすると、ファイルの余白部分にあるデータが正しくプリントされないことがあります。
- プリントオプションの［画質］＞［K オーバープリント］にチェックマークを付けて、K（100%）を含む QuickDraw パターンをプリントすると、エラーになります。この場合は、［K オーバープリント］のチェックマークを外してください。
- プリントオプションの［出力方法］＞［差込印刷］を［フォームとして登録］にしたとき、プリントはしないでフォームの登録だけをする場合は、［出力方法］＞［スプールオプション］を［プリントせずに保存する］にしてください。
- プリンタードライバーのプリント設定に、メモ書きのコメントを入力する欄が表示されない場合は、コメント機能を使用できません。この場合は、プリントオプションの［出力方法］＞［メモ書き］機能でコメントを入力してください。
- プリントオプションの［出力方法］＞［メモ書き］＞［メモ書きの種類］を［カスタム］にした場合、プリントの向きにかかわらず、日付と番号は横向きにした用紙の左下角の位置にプリントされます。この位置は、プリンターの特性を考慮して設定されているので、変更はできません。
- Adobe PageMaker の「カラー」をクリックして表示される「プリント - カラー」ダイアログボックスで、「カラー」を選択しても、ServerManager の［管理］→［プリントオプションテンプレートの管理］の［カラー］＞［カラーモード］を［グレースケール（K)］にしていると、グレースケールでプリントされます。この場合は、PageMaker のプリントダイアログボックスで「プリンタ特性」をクリックして表示される、「プリント - 特性」ダイアログボックスの「カラーモード」で「カラー（CMYK)」を選択してください。
- Adobe PageMaker のプリント設定で、「後ろのページから」を選択して両面印刷すると、正しい順序でプリントされません。両面印刷する場合は、「後ろのページから」を選択しないでください。
- Adobe PageMaker でカスタムサイズのジョブをプリントする場合は、プリントオプションの［用紙 / ページ］＞［用紙トレイ］で、使用する給紙トレイを選択してください。［用紙 / ページ］＞［用紙トレイ］で給紙トレイを選択せずにプリントすると、エラーが発生することがあります。
- Adobe Illustrator 9.0 で RGB カラーを適用した EPS ファイルを RGB カラー出力がサポートされていないアプリケーションでプリントする場合は、「CMYK ポストスクリプト」オプションを「オン」にしてください。「CYMK ポストスクリプト」オプションを「オフ」にすると、正しくプリントされないことがあります。
- Adobe Illustrator 8.0 でオブジェクトに「塗りにオーバープリント」を設定し、PDF ファイルで保存すると、白色に対してもオーバープリントが適用されます。これは Illustrator 8.0 の仕様です。
- Adobe Illustrator 10.0 からのプリントは、プリントオプションの［排出 / フィニッシング / 両面］＞［ソートする（1 部ごと)］、または［最終ページから印刷］にチェックマークを付けても、正しくプリントされません。これは Illustrator 10.0 の制限事項です。
- Adobe Illustrator 10.0 のプリント設定で、N-Up プリントを設定すると、縮小されずにプリントされるため、正しくプリントできないことがあります。これは Illustrator 10.0 の制限事項です。
- Adobe Photoshop 7.0 のプリント設定で、N-Up プリントを設定すると、縮小されずにプリントされるため、正しくプリントできないことがあります。これは Photoshop 7.0 の制限事項です。
- Adobe Photoshop の分版出力ジョブをプリントオプションの［画質］＞［その他の設定（画質)］＞［色分版の合成］を［自動］にして自動合成することはできません。分版を合成する場合は、［Illustrator Style］にしてください。
- アプリケーションで PDF ファイルを出力し、Adobe Reader でプリントすると、プリント結果がモニターの表示と異なることがあります。なお、Acrobat Distiller で作成した PDF ファイルは、正しくプリントされます。
- プリントオプションの［排出 / フィニッシング / 両面］＞［両面］機能を有効にしたとき、［最終ページから印刷］にチェックマークを付けてプリントしても、［最終ページから印刷］は無視されます。

- Adobe PageMakerの線幅の設定は、デバイスの1ピクセル幅単位にまるめてプリントされるので、600dpiのプリンターでは 0.12pt よりも細い線はプリントされません。
  このため、PageMaker で作成した描画オブジェクトは、プリントオプションの［プリフライト］＞［画像警告］＞［ヘアライン警告］機能で警告されません。なお、PageMaker に割り付けた EPS ファイルに含まれる細線は、警告されます。
- 線ではなく四角オブジェクトを作って塗りにしたものは、プリントオプションの［プリフライト］＞［画像警告］＞［ヘアライン警告］機能で警告されません。
- Adobe Illustrator などで作成した EPS ファイルを縮小して割り付けた場合、縮小後の線幅もプリントオプションの［プリフライト］＞［画像警告］＞［ヘアライン警告］機能で警告されます。
- Adobe InDesign 1. ＊ /2.0 で、鉛筆ツールや楕円形ツールで描いた曲線に、グラデーションで塗りを設定したオブジェクトは、プリントオプションの［プリフライト］＞［画像警告］＞［ヘアライン警告］機能で警告されません。
- Adobe Illustrator 9.0/10.0 は、オーバープリントをシミュレーションしてプリントするので、Illustrator 9.0/10.0 からのプリントは、プリントオプションの［プリフライト］＞［画像警告］＞［オーバープリント警告］機能で警告されません。
- PDF ダイレクトプリントで、文字抜けするような場合は、Adobe Reader でプリントしてください。
- プリントオプションの［出力方法］＞［レイアウト］＞［小冊子］機能でプリントした場合、使用する用紙のサイズによっては、ポイントとピクセルの変換誤差により、わずかに用紙中央部分の画像が欠けることがあります。
- 原稿がグレースケールのファイルでも、プリントオプションの［カラー］＞［カラー詳細（RGB 設定)］＞［RGB 色補正]、[カラー］＞［カラー詳細（CMYK 設定)］＞［CMYK 色補正]、[カラー］＞［カラー詳細（特色設定)］＞［コンポジット特色補正］などで色補正し、プリントすると、カラーでプリントされることがあります。
- RGB グレーファイルをプリントオプションの［画質］＞［その他の設定（画質)］＞［RGB グレーを K に置換］と［カラー］＞［カラー詳細（RGB 設定)］＞［RGB 色補正］を［しない］にしてプリントすると、白黒でプリントされます。
  なお、グレースケールのファイルで［RGB 色補正］が［しない］でも、アプリケーションでトンボなどを付けてプリントすると、カラーでプリントされます。また、[出力方法］＞［メモ書き］＞［メモ書きの種類］を［カラーパッチ］にした場合もカラーでプリントされます。
- 色補正プロファイル（ICC プロファイルなど）を含んだグレースケールのファイルをプリントオプションの［画質］＞［その他の設定（画質)］＞［RGB グレーを K に置換］と［カラー］＞［カラー詳細（RGB 設定)］＞［RGB 色補正］を［しない］にした場合、カラーでプリントされることがあります。
- Adobe Reader/Adobe Acrobat でカタログプリントをすると、正しくプリントされないことがありますので、プリントオプションの［出力方法］＞［レイアウト］＞［小冊子］の［カタログ印刷］機能でプリントしてください。
- アプリケーションによって（たとえば Adobe Reader 7 など）は、部数を入力すると部数×ページ数分を 1 ジョブとしてプリンターに送るものがあります。そのため、小冊子プリントを行っても、予想している小冊子を作成できないことがあります。この場合は、アプリケーションでは部数を「1」にして Print Server に送り、プリントオプションの［用紙 / ページ］＞［部数］で部数を入力してください。
- Adobe PageMaker のプリント設定で、カスタムサイズの用紙を選択した場合、トレイ設定は無視されてプリントされます。トレイは、Print Server のプリントオプションで選択してください。
- イメージとテキストが重なった（半透明）部分が正しくプリントされない（まだらにプリントされるなど）場合は、プリントオプションの［画質］＞［原稿タイプ］を変更してください。
- グラデーションが滑らかにプリントされない場合は、プリントオプションの［画質］>［その他の設定（画質)］＞［Image Enhancement/ 白抜き文字の強調］を［しない］にしてください。

- PostScript データ中のカラースペースが DeviceN で設定されたオブジェクトは、正しくプリントされないことがあります。
- PDF にはプリント不可やデータ編集不可などの設定がされていることがあります。ジョブがエラーリストにある場合は、PDF の設定を確認してください。
- 和文書体の埋め込みは、常にサブセット埋め込みになります。(PDF の仕様)
- 選択した用紙サイズのトレイがセットされているにもかかわらず、「用紙トレイなし(201)」のエラーが表示される場合は、選択した用紙種類がトレイにセットされているかどうかを確認してください。
- Adobe Reader/Adobe Acrobat でプリントすると、一部のフォントが抜けたり PostScript エラーが発生する場合は、Reader/Acrobat の印刷ダイアログボックスの「詳細設定」→「PostScript オプション」→「フォントとリソースのポリシー」を「開始時に送信」、または「使用範囲ごとに送信」から「ページごとに送信」に変更してください。
- アプリケーションによっては、ファイルの天と地を自動で判別できないものがあるため、意図した場所にホチキスやパンチがされないことがあります。この場合は、ServerManager のプレビュー表示で確認してください。
- プリントが連続しているときに、両面印刷のジョブで紙詰まりが発生すると、プリンターの操作パネルにエラーが表示されないことがあります。この場合は、プリンターの転写ユニットに用紙が詰まっていないかを確認してください。
- アプリケーションによっては、1 つの元画像を分割してデータを作成することがあります。この場合は、プリントオプションの［カラー］>［カラー詳細(RGB 設定)］>［分割画像を合成］にチェックマークを付けていると、RGB 画像が意図したプリント結果にならないことがあります。
- プリントオプションの［用紙 / ページ］>［原稿ページ範囲］で、先頭ページを含まない設定をしているジョブに対して、［用紙 / ページ］>［特殊ページ］>［合紙と例外ページ］にチェックマークを付けても、合紙は挿入されません。
- プリントオプションの［画質］>［コンポジットオーバープリント］で［しない］を選択しても、アプリケーションからの DeviceN のオブジェクトはオーバープリントされます。DeviceN を含むすべてのオブジェクトのオーバープリント指定を無視するには、［アプリケーションの指定を無視］を選択してください。
- プリントオプションの［RIP］>［RIP の種類］に［CPSI］を選択して、PDF をプリントすると、［画質］>［コンポジットオーバープリント］で［しない］を選択していても、透明効果が指定された DeviceCMYK オブジェクトはオーバープリント処理されます。これは、CPSI での処理時に DeviceCMYK を DeviceN に変換しているためです。
- プリントオプションの［RIP］>［RIP の種類］に［CPSI］を選択して、PDF をプリントすると、特色オブジェクトの上にオーバープリントしている場合は、［画質］>［コンポジットオーバープリント］で［しない］を選択すると正しくプリントされない場合があります。この場合は［コンポジットオーバープリント］を［しない］以外にしてください。
- 透過設定されているオブジェクトが正常にプリントされないことがあります。この場合は、PDF で保存し、プリントオプションの［RIP］>［RIP の種類］に［APPE］を選択してプリントしてください。
- プリントオプションの［出力方法］>［レイアウト］>［小冊子］機能でプリントした場合、［プリフライト］>［RIP 後のデータをファイルに保存］の［TIFF で保存する］、または［PDF で保存する］は無視されます。
- PDF がカスタム用紙サイズのとき、プリントオプションの［RIP］>［RIP の種類］が［APPE］と［CPSI］とで、イメージの向きが異なるプリント結果となる場合があります。

■ Macintosh クライアント

- Macintosh クライアントからプリントする場合、使用するアプリケーションのメモリー使用サイズが 1MB 以下に設定されていると、プリントできないことがあります。使用するアプリケーションのメモリー使用サイズは、1MB 以上に設定してください。

- グレースケールのEPS画像をファイルに貼り付けて、Adobe InDesignで分版プリントする場合は、Adobe Photoshopなどで「ポストスクリプトカラー管理」を「オフ」に設定して、EPS形式で保存した画像を使用してください。「ポストスクリプトカラー管理」が「オン」に設定されているEPSファイルを使用すると、正しく分版プリントされないことがあります。
- Mac OS Xでは、用紙サイズにカスタム用紙サイズを選択した場合、正しくプリントできないことがあります。
- 用紙選択画面では、用紙サイズがB5はB5（JIS）、B4はB4（JIS）、8.5 × 11はレター、8.5 × 14はリーガルと表示されます。
- OSがMac OS 9.2.2、プリンタードライバーがAdobePS 8.8で、Adobe Illustrator 10.0の「書類設定」→「アートボード」で設定している用紙サイズと、プリンタードライバーで設定している用紙サイズが異なる場合、そのIllustratorファイルを再度開くと、プリンタードライバーで設定している用紙サイズが、「その他」に変更されることがあります。
  また、「書類設定」→「アートボード」と、プリンタードライバーで設定している用紙サイズが同じ場合でも、プリンタードライバーで設定している用紙サイズが、「その他」に変更されることがあります。
- 分版プリントをしようとすると、「指定したプリンタのPPDファイルは、色分解ダイアログボックスで使用しているPPDファイルとは異なります。アートワークの一部がプリントされなかったり、プリントが適切に行われない場合があります。」というメッセージが表示されることがありますが、そのままプリントを続けてください。
- Mac OSにインストールされているフォントとプリントするファイルで使用しているフォントの組み合わせによっては、PostScriptエラーが発生することがあります。
- Macromedia FreeHand 10.0JでOpenTypeフォントが入力されたテキストを含むファイルをプリントすると、PostScriptエラーが発生することがあります。
- アプリケーションの用紙設定でプリンターを選択するとPPDファイル名が表示されますが、途中までしか表示されません。
- アプリケーションによってはRGB画像に対して、プリントオプションの［カラー］＞［カラー詳細（RGB設定）］＞［RGB色補正］を［しない］にしてプリントしても、［RGB出力インテント］の選択が反映されることがあります。
- Adobe Illustrator 10.0のプリント設定で、N-Upプリントを設定した場合や、プリントオプションの［排出 / フィニッシング / 両面］＞［ソートする（1部ごと）］、［最終ページから印刷］にチェックマークを付けた場合、正しくプリントされないことがあります。
- Adobe InDesign 2.0のプリント設定で、N-Upプリントを設定すると、正しくプリントされないことがあります。
- Adobe InDesign 2.0のプリント設定で、N-Upプリントを設定した場合、または拡大・縮小をした場合は、プリントオプションの［プリフライト］＞［画像警告］＞［ヘアライン警告］機能を有効にすると、警告対象でない部分を警告したり、画像の一部が消えたりすることがあります。
- 機種によっては、Mac OS XのAdobe InDesignから大容量のファイルをプリントした場合、PostScriptエラーになることがあります。これは、Adobe InDesignでは、PPDファイルのScreenFreqの値（Print Serverではプリント画質を考慮し、「200」に設定されています）を参照してPSファイルが生成されるためです。（ページを分割してプリントすることで、回避できます）
  送信可能なファイル容量は、次のとおりです。
  - MacOS X 10.3.9、10.4.11：2GB
  - MacOS X 10.5以降：4GB

  上記の容量以上のデータを送信する場合、プリンターのPPDファイルの「*ScreenFreq」の値を「200」から少ない値に変更してプリンターを再作成する、またはAdobe InDesignのプリント設定で、「グラフィック」→「画像」→「解像度」を「サンプリングを最適化する」に設定してください。（プリント設定を変更すると、PSファイルのサイズが小さくなりますが、画質が落ちますのでご注意ください）

- Macromedia FreeHand 10.0J のプリント設定で、N-Up プリントを設定した場合、または拡大・縮小をした場合は、偶数ページだけがプリントされたり、1 枚に全ページが重なってプリントされたりするため、正しくプリントできないことがあります。これは FreeHand 10.0J の制限事項です。
- Microsoft Office Excel X のプリント設定で、N-Up プリントを設定した場合、プリントオプションの［プリフライト］＞［画像警告］＞［ヘアライン警告］機能を有効にすると、正しくプリントされないことがあります。
- Microsoft Office PowerPoint のプリント設定で、「用紙サイズに合わせる」を設定すると、画像が切れたり、印字サイズが変わってプリントされることがあります。
- OS が Mac OS 9.2.2、プリンタードライバーが AdobePS 8.7.2 の場合、Adobe Acrobat 5.0 の印刷ダイアログボックスでは、正しく表示されません。
- QuarkXPress や Adobe PageMaker など、PostScript コードを独自に生成するアプリケーションで、プリントオプションの設定画面で設定した値は、［キャンセル］をクリックして画面を閉じても、次回プリント時に設定値として使用されます。
  また、異なるアプリケーション間でも、この設定値は使用されます。［プリント］をクリックしてプリントオプションの設定画面を閉じると設定が正しく反映されます。
- Macromedia FreeHand 10.0J からのプリントでは、Print Server でジョブの名前が正しく表示されないことがあります。
- Mac OS 9.2.2 の Adobe PageMaker でプリントする場合は、プリンタードライバーに LaserWriter を使用してください。AdobePS ドライバーを使用すると、プリントするときの設定表示は「オフ」でも、前回のプリント時の設定が効いてプリントされることがあります。
- Mac OS X で Lpr 経由のプリントした場合、ジョブのファイル名が文字化けすることがあります。この場合は、AppleTalk 経由でプリントしてください。
- Mac OS X からのプリントで、生成される PostScript コードが 2GB を超えるような場合、Mac OS X で壊れた PostScript データが Print Server に送信され、PostScript エラーが発生することがあります。PDF データの場合は、DropUtility、WebManager、または共有フォルダ（ホットフォルダ）でプリントできますが、アプリケーションデータの場合は、ページ範囲で複数に分け、生成される PostScript コードが 2GB 未満になると、プリントが可能です。
- QuarkXPress 6.5.1J でプリントした場合、「PostScript エラー（107）」が表示されることがあります。この場合は、プリントするときに「TrueType フォント送信方法」を「ビットマップフォント」、または「Type42 フォント」に変更してください。
- Mac OS X の Adobe Reader のプリント設定で、N-Up プリントを設定すると、PostScript エラーが発生することがあります。この場合は、「プリント方向」に「ポートレート」を選択するか、「フォントとリソースのポリシー」で「ページごとに送信」を選択してください。
- Microsoft Office Word 2004 からミックスサイズ原稿をプリントする場合、Word の［詳細オプション］→［印刷前にフィールドを更新する］のチェックマークを付けてプリントしてください。
- Adobe Reader のプリントダイアログボックスから、プリンタードライバーの［Print Server N01］タブで、［詳細設定］→［プロファイル］の［取得］を実施しても、プロファイルを取得できないことがあります。この場合は、WebManager の［ダウンロード］→［共通］→［プロファイル設置のダウンロード］から、プロファイルをダウンロードしてください。

■ Windows クライアント

- Windows クライアントからのジョブでプリフライトレポートを作成すると、次のような PostScript メッセージが表示される場合がありますが、これはエラーメッセージではありません。

```
*** PostScript メッセージ ***
%% [ProductName : DocuPrint C5000 d PSPX] %%
%% [Page : 1] %%
%% [Page : 2] %%
%% [Page : 3] %%
%% [LastPage] %%
```

- Windows XP のアプリケーションから、プリンタードライバーを使用してプリントした場合に、生成されるジョブが 4GB を超えるときは、Print Server に正しく送信されないことがあります。
  4GB を超えるジョブをプリントする場合は、「スタート」→「デバイスとプリンター」→「プロパティ」→「詳細設定」タブを選択して、「プリンタに直接印刷データを送る」をオンにしてください。
- Macromedia FreeHand 9.0J のプリント設定で、3 ページのファイルに 4Up を設定すると、全ページとも標準レイアウトでプリントされることがあります。
- QuarkXPress 4.1J のプリント設定で、3 ページのファイルに 4Up を設定すると、3 ページ目だけがプリントされることがあります。
- QuarkXPress 4.0J は、オブジェクトの線幅を 0pt に設定するとヘアライン機能が適用され、自動的に線幅が設定されます。このときに設定された線幅が、プリントオプションの［プリフライト］＞［画像警告］＞［ヘアライン警告］で設定したヘアライン警告幅よりも太い場合、警告されません。
- Internet Explorer 6.0 のプリント設定で、N-Up プリントを設定すると、正しくプリントできないことがあります。これは Internet Explorer 6.0 の制限事項です。
- QuarkXPress 4.1J のプリント設定で、N-Up プリントを設定すると、正しくプリントできないことがあります。これは QuarkXPress 4.1J の制限事項です。
- Adobe InDesign、または Adobe Illustrator で、プリンターに Print Server のプリンターを選択しても、プリンターフォントを画面上で使用することはできません。これはアプリケーションの制限事項です。
- ジョブのサイズによっては「ジョブの保存」が終了するまで時間がかかることがあります。
- 特色管理機能を使用し、 CMYK 値 （CMY=0、 K ≠ 0） で作成された特色は特色補正機能により色変換され、 K 単色ではプリントされません。
- Windows Vista の Microsoft Office 2007 で、メイリオフォントを使用したファイルをプリントした場合、プリント結果の一部でフォントが抜けてしまうことがあります。
  この場合は、次の設定でプリントしてください。
  1. 「Office」ボタンで「印刷」を選択し、「プロパティ」を表示させる
  2. 「レイアウト」→「詳細設定」→「PostScript オプション」→「TrueType フォント ダウンロード オプション」を「アウトライン」にする
- Microsoft Office Word 2010 で作成した Letter サイズのファイルをプリンタードライバーからプリントすると、A4 サイズでプリントされることがあります。その場合は、プリンタードライバーの「Word のオプション」→「詳細設定」→「印刷」の「A4 または 8.5x11 インチの用紙サイズに合わせて内容を調整する」のチェックマークを外してください。
- Microsoft Office PowerPoint 2007 から Adobe PDFMaker を使用して作成した PDF ファイルを、ServerManager に直接読み込んでプリントする場合、設定したページサイズでプリントされないことがあります。この場合は、プリントオプションの［用紙 / ページ］＞［PDF のトリミング領域をページサイズとする］にチェックマークを付けてください。

2-7. フォントについて

- フォントワークス株式会社製品のフォントをインストールする場合、2 回目からはインストール先が disk0 に固定され、プリンターの選択ができません。これは、フォントワークス株式会社のインストーラーの制限事項です。
- エヌフォー株式会社製品のフォントをインストールする場合は、エヌフォー株式会社提供のインストーラー ver.2.1 を使用してください。
- 株式会社ニィスのフォント『字識人 JTC ウイン M1』をインストールし、フォントの更新をするとエラーシートがプリントされますが、このフォントを使用してのプリントには問題ありません。
- 株式会社モリサワのフォント『新正楷書体 CBSK1』をインストール済みの環境で、このフォントを使用しプリントする場合はフォアグランドにするか、「ダウンロード可能フォントの制限なし」を「オン」にしてください。
- Mac OS 9.2.2 で、株式会社モリサワの NewCID フォントを使用すると、フォントが LaserWriter ドライバーからプリンターに正しくダウンロードされずに、ビットマップフォントでプリントされることがあります。これは、モリサワ NewCID フォントが複数のフォント名を持っているため、プリンターに誤ったフォント名が伝えられ、フォントがない扱いになってしまうからです。
  この場合は、次のどれかの対処をしてください。
  - 「用紙設定」の PostScript オプションを選択し、「ダウンロード可能フォントの制限なし」を「オン」にする
  - PDF で保存し、デスクトッププリンターにドラッグする
  - AdobePS ドライバーを使用する
  - ATM フォントをインストールする

2-8. PS プリフライト機能について

- ダブルトーンで特色が使用されているファイルの場合、プリントオプションの［プリフライト］＞［PS プリフライト］の［未登録の特色を登録する］で検出された特色は、本来の色とは異なる値で登録されることがあります。特色を登録したあと、ServerManager の［カラー］→［特色の管理］で、［CUSTOM］に登録された該当の特色の値を変更してください。
- 分版ジョブの場合、プリントオプションの［プリフライト］＞［PS プリフライト］の［未登録の特色を登録する］で検出された特色は、本来の色とは異なる値で登録されます。特色を登録したあと、ServerManager の［カラー］→［特色の管理］で値を変更してください。

2-9. ネットワークについて

- プリンターの SNMP の設定で、Print Server の IP アドレスに対して、トラップの設定を行わないでください。トラップの設定を行うと、Print Server が自動で行っているトラップの設定が動作しなくなります。なお、Print Server 以外の IP アドレスへのトラップ設定は問題ありません。
- Print Server からのプリント中に、Print Server とプリンター間のネットワーク接続が切断されたとき、切断されたタイミングによっては、プリントが完了しても、ServerManager に表示されているジョブが正しく終了しないことがあります。この場合は、ネットワークの接続を確認し、Print Server を再起動してください。

3. マニュアルについて

Print Server には、次のマニュアルが用意されています。使用目的に合わせてご利用ください。

- **Ver.6.0 リリースについての追加補足情報（本書）**

  Print Server の追加補足情報について説明しています。

- **ユーザーズガイド導入編**

  Print Server を導入するうえでの設定や操作方法について説明しています。マニュアルは、DVD の「Document」フォルダーに、PDF で格納されています。ファイル名は、「Manual_Introduction.pdf」です。

- **ユーザーズガイド運用編**

  Print Server のプリント機能、色の調整の仕方、プロファイルの割り当てやツールの操作方法について説明しています。マニュアルは、DVD の「Document」フォルダーに、PDF で格納されています。ファイル名は、「Manual_Operation.pdf」です。

- **ユーザーズガイドセットアップ編**

  Print Server を安全にご利用いただくために、本機を使用する前に知っておいていただきたいことについて説明しています。Print Server の商品パッケージに同梱されているハードウエアの接続方法、各部の名称、およびプリントサーバーとして使用するためのシステムのセットアップ方法について説明しています。マニュアルは、DVD の「Document」フォルダーに、PDF で格納されています。ファイル名は、「Manual_Setup.pdf」です。

- **キャリブレーションガイド**

  Print Server のキャリブレーションについて説明しています。マニュアルは、DVD の「Document」フォルダーに、PDF で格納されています。ファイル名は、「Manual_Calibration.pdf」です。

- **ライセンスについて**

  Print Server のライセンスについて記載しています。マニュアルは、DVD の「Document」フォルダーに、PDF で格納されています。ファイル名は、「Licence.pdf」です。

- **セキュリティー対策に関する補足情報**

  Print Server のセキュリティーに関する補足情報について説明しています。

- **Color Profile Maker Pro 操作説明書**

  Color Profile Maker Pro の機能や操作方法について説明しています。マニュアルは、DVD の「CPMP」フォルダーに、PDF で格納されています。ファイル名は、「CPMP_Manual.pdf」です。

4. 商標について

- Macintosh、Mac OS、QuickDraw、および TrueType は、米国、および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Adobe、Acrobat、Adobe Illustrator、Adobe Reader、ATM、Distiller、FreeHand、InDesign、Macromedia、PageMaker、Photoshop、PostScript、PostScript 3、および PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国、およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Excel、Internet Explorer、Microsoft、OpenType、PowerPoint、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における登録商標です。
- Trueflow は、大日本スクリーン製造株式会社の登録商標です。
- 新正楷書体 CBSK1 は、株式会社モリサワとアドビシステムズ社が共同開発したフォントで承認外の複製は禁止しており、それらの書式名は株式会社モリサワの商標です。
- 字識人、JTC ウインは、株式会社ニィスの登録商標です。
- Quark、QuarkXPress は、米国ならびに各国で登録された Quark, Inc. と Quark 関連会社の商標です。
- Firefox は、米国 Mozilla Foundation の米国、およびその他の国における登録商標です。
- PrintShop Mail は、オランダ ATLAS Software BV 社の登録商標です。

- その他の製品名、会社名は、各社の登録商標、または商標です。